

利用料金・減免規定一覧（南市民ホール）

【相模原市立市民会館条例】

（利用料金）

第6条 会館の利用の承認を受けた者（以下「利用者」という。）は、第16条の規定により会館の管理を行うもの（以下「指定管理者」という。）に対し、会館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を納付しなければならない。

2 利用料金は、相模原市民会館にあつては別表第1に、相模原南市民ホールにあつては別表第2に定める額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定める。

3 第1項の規定にかかわらず、指定管理者は、規則で定めるところにより、利用料金を減額し、又は免除することができる。

4 利用料金は、前納とする。ただし、規則で定める場合は、後納とすることができる。

5 利用料金は、指定管理者の収入とする。

（利用料金の不還付）

第7条 既に納付された利用料金は、還付しないものとする。ただし、指定管理者は、規則で定めるところにより、その全部又は一部を還付することができる。

別表第2 （第6条関係）相模原南市民ホール利用料金

（1） ホール利用料金

ア 基本利用料金

区分	1 日
	9 時～22 時
平日	47,300円
土曜日・日曜日・休日	61,400円

備考 平日とは、土曜日、日曜日及び休日（国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう。）以外の日をいう。

イ 加算利用料金

（ア） 利用者が、商業宣伝その他これに類する目的のために利用する場合は、基本利用料金に150パーセントを乗じて得た額を加算する。

（イ） （ア）以外の場合で、利用者が入場料等を徴収するときは、基本利用料金に次に定める率を乗じて得た額を加算する。ただし、営利を目的としない利用であつて、入場料等が1,000円以下の場合は、加算しない。

1 人当たりの入場料等の最高額	率
1,000円以下	80パーセント
1,000円超	130パーセント

資料5

ウ 舞台のみ利用料金

練習等のため舞台のみを利用する場合の利用料金は、基本利用料金の50パーセントの額とする。

エ 延長等に係る利用料金

延長等に係る利用料金については、別表第1第1号オの規定を準用する。

(2) 楽屋利用料金

室名\区分	1 日
	9 時～22時
第1 楽屋	5,700円
第2 楽屋	2,700円

備考 延長等に係る利用料金については、別表第1第1号オの規定を準用する。

(3) 器具等利用料金

種別	単位	利用料金
照明設備	1 列又は1 台1 日	3,300円
音響設備	1 本、1 台又は1 式1 日	8,700円
舞台設備	1 台又は1 式1 日	33,900円
持込器具使用電力料	持込器具の表示消費電力1 キロワット1 日	750円

備考

- 延長等に係る利用料金については、1 時間につき、1 日の利用料金の10パーセントに相当する額とする。この場合において、延長又は繰上げに係る利用の承認を受けた時間に1 時間未満の端数があるときは、これを1 時間とみなす。
- 持込器具使用電力料の利用料金を算出する基礎となる持込器具の表示消費電力の1 キロワット未満の端数は、1 キロワットとみなす。

【相模原市立市民会館条例施行規則】

(利用料金の後納)

第5条 条例第6条第4項ただし書の規定により利用料金を後納とすることができる場合は、国又は地方公共団体が利用するときその他指定管理者が特に必要があると認めるときとする。この場合において、利用者は指定管理者が指定する期限までに利用料金を納付しなければならない。

(利用料金の減免)

第12条 条例第6条第3項の規定による利用料金の減免は、入場料その他これに類する料金を徴収しない場合であつて、次の各号に掲げるときに、当該各号に定める率により行う。

- (1) 指定管理者が条例第21条の規定により行う同条第7号の事業のために利用するとき。 100パーセント
- (2) 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項の規定により利用料金の減免を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に減免の申請をするものとする。

(利用料金の還付)

第13条 条例第7条ただし書の規定による既納利用料金の還付は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

- (1) 災害その他利用者の責めによらない理由により利用することができなくなつたとき。 既納利用料金の100パーセント
- (2) 利用日の180日前までに相模原市民会館又は相模原南市民ホールのホテルの利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の80パーセント
- (3) 利用日の60日前までに相模原市民会館又は相模原南市民ホールのホテルの利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の50パーセント
- (4) 利用日の30日前までに相模原市民会館の会議室等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の80パーセント
- (5) 利用日の7日前までに相模原市民会館の会議室等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の50パーセント
- (6) 附属設備、器具等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 利用料金の100パーセント
- (7) 利用の変更の承認（相模原市民会館のホール客席数変更（ホールを仕切つて800席未満にすることをいう。）の承認にあつては、利用日の7日前までに申請があつたものに限る。）により、既納利用料金が過納となつたとき。 既納利用料金

のうちの過納額の100パーセント

(8) 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項第2号から第5号まで及び第7号に規定する期限の末日が、休館日に当たるときは、その直後の開館日を当該期限の末日とする。

3 第1項の規定により既納利用料金の還付を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に還付の申請をするものとする。